



2022年度 システム教育委員会 成果報告



一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会 システム教育委員会 委員長 赤木 信裕

システム教育委員会の2022年度活動計画

- 医用画像システム部会の教育・広報活動としてホームページ運用を担当
- Web開催のITEM2022において、医用画像システム部会関連の運営準備協力
- 医用画像システム部会の活動紹介パネル（電子版）の作成と掲載
- ヘルスソフトウェア開発ガイドライン関連のパンフレット（電子版）の掲載
- IHE活動に関するパンフレット（電子版）の配布
- 「DATA BOOK 2023 図表で見る画像医療システム産業」継続発行の加筆修正
- **主催：夏の勉強会、成果報告会/特別講演会の企画・開催**
- **各委員会主催セミナーへの支援**

2022年度システム教育委員会の具体的な活動内容

- ITEMの広報活動⇒JIRAウェブブースへ電子版パンフレット提供
- 部会各委員会活動の広報活動
- ホームページ運営
- 定例の会員向け・関係団体向け勉強会・セミナー開催の支援
2022年度に開催に関与したセミナー
 - **JART-JIRAモニタ精度管理セミナー（モニタ診断システム委員会）**
 - **夏の勉強会（セキュリティ委員会）**
 - **既読管理セミナー（画像診断レポート委員会、経済部会、JART）**
 - **成果報告会特別講演会（医用画像システム部会 各委員会）**

JART - JIRAモニタ精度管理セミナーへの支援

- 第8回JART-JIRA モニタ精度管理セミナー（6月25日）
 - コロナ禍による2年間のブランクを経て対面セミナーとして開催
 - 両団体の事務所移転に伴いEIZO（株）東京事業所にて開催
 - 感染防止対策のため参加人数を絞って開催(募集28名:当日25名)
 - システム教育委員会は映像収録、感染対策などで開催支援
 1. 医用画像表示用モニタの特徴と品質管理の実態
公益社団法人 日本診療放射線技師会 理事 松田 恵雄 先生
 2. モニタ実機によるヒヤリハット体験
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 3. モニタの品質管理に関するガイドライン (JESRA X-0093*B-2017)の紹介
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会
 4. 病院での品質管理について
東北大学病院 診療技術部放射線部門診療放射線技師長 坂本 博 先生
 5. モニタの品質管理のデモンストレーション
JIRA 医用画像システム部会モニタ診断システム委員会

夏の勉強会の開催

● 夏の勉強会（8月30日）：

- 背景：ランサムウェアなどによる医療機関へのサイバー攻撃が増加
- テーマ：医療情報システム・画像診断機器をねらったサイバー攻撃に対する対応と防御

■ サイバー攻撃を経験した医療機関の事例（診療現場の対応とシステム復旧への対応）

■ サイバー脅威に対するJIRAセキュリティ委員会とセキュリティベンダーの取り組み

■ 開催詳細

- I. 開催方法：Zoom Webinarによるリモート開催
- II. 外部講師3名は大阪よりリモート参加
- III. 募集人数：90名（申込み80名超）
- IV. 参加対象：JIRA会員 および 非会員
- V. 参加費用：無料

夏の勉強会のプログラム

1.「工業会でのサイバーセキュリティ対策活動」

セキュリティ委員会 委員長 堀野 誠人

2.「PACS障害の経験と対応」臨床対応と技術対応

①臨床対応編

地方独立行政法人市立東大阪医療センター 医療技術局局長 倉橋 達人 先生

②技術対応編

地方独立行政法人市立東大阪医療センター 経営企画課主査 鈴木 淳 先生

3.「高度化するサイバー脅威と医療システムに求められるセキュリティ対策の考え方」

トレンドマイクロ株式会社 公共ビジネス本部 シニアマネージャー 松山 征嗣

※医療現場の参加者は、診療時間内の参加は難しいため、
VODなどによる視聴方法を検討してはとの意見あり。

JIRA会員向け・JIRA外 勉強会・セミナーの開催

- 経済部会診療報酬委員会・画像診断レポート委員会共催

合同セミナー「既読管理セミナー」（12月2日）

– **リアルタイム開催とVOD配信**によるハイブリッド開催

- I. 開催方法：Zoom Webinar （講師、関係者JIRA事務所より発信）
- II. 募集人数：80名 （**当日参加69名 および 2月末までVOD公開**）
- III. 参加対象：JIRA会員 および 非会員
- IV. 参加費用：JIRA会員または医療機関関係者 ¥ 3,300、その他 ¥ 6,600

「既読管理セミナー」プログラム

1. 報告書管理体制加算に関する診療報酬上の評価について
日本画像医療システム工業会 経済部会 鍵谷昭典 部会長
2. 画像診断報告書管理体制と管理者研修
日本診療放射線技師会 児玉直樹 副会長
3. 画像診断報告書管理体制の実例
大船中央病院 放射線科 青木陽介 先生
4. 既読管理機能仕様項目の詳細 ～放射線レポートシステムベンダーの視点から～
JIRAレポート委員会 原真 委員長

セミナー・勉強会開催の評価

○評価できる点：

- 他の部会や職能団体等と協力して情報提供ができたこと
- サイバーセキュリティ対策や画像診断報告書管理体制などタイムリーなテーマを取り上げられたこと
- VOD配信によって場所・時間を選ばず情報提供できたこと
- 医療情報技師育成部会や医学雑誌社の協力を得て開催を周知でき、多くの医療現場の方に聴講いただけたこと

×反省する点：

- Mナンバーを持つJIRA登録委員全体への広報の方法がないこと
- Webinarで講師の音声などに不備があったこと
- アンケート入力にタイムラグ⇒本日はWebinar退出から直接アンケートへ

2023年度に向けての課題

- 委員会を運営するための**人材確保**が重要課題
 - 当委員会では各委員会から随時**委員を募集**しています
- 委員会が開催するセミナーに**ガイドライン**が必要
 - 有料、無料の基準、技師ポイント付与の基準、広報活動、委員派遣、その他の指針策定
- セミナー支援以外の事業計画**活動の活性化**

御清聴 ありがとうございました。